

第3期始良市総合戦略(案)に対する意見募集の実施結果と市の考え方について

1 パブリックコメント集計結果

(1) 実施期間

令和6年9月12日(木)～令和6年10月11日(金)

(2) 提出方法、提出人数及び意見の数

電子メール1人、市ホームページから2人

2 意見等の概要と市の考え方

受理 番号	計画案 の箇所	意見の概要	市の考え方
1	4施策の体系 基本目標3 基本目標4 (19ページ ～25ページ)	<p>今後、人口減少社会をあるべきものとして、最小限の生産者人口でまかなう社会を作り上げていくためには、できる限り効率的な社会運営が必要となる。そこで、マイナンバーカード利用とスマートタウンへの集約化は必要不可欠と考える。</p> <p>市町村合併前の全国の市町村単位で、それぞれスマートタウン構想を構築すべきと考えており、加治木地区については、最近流行の療養型病院と高齢者施設をセットにした物を建設して、その周囲にマンションを建築すれば、スマートタウンとして完成するであろう。</p> <p>行政的には、子育て支援拡充のための子供医療費減額や、健康祭り実施などの政策を打ってほしい。</p> <p>また、かもだ通りの中心部には子ども食堂が開設済みである。朝食を安定的に食べられない子供達を加治木町内の弁当店やパン屋さんと提携して登校前に提供するだけでなく、人数や料金を絞って下校時に夕食を提供したり、そのついでに、加治木町内に多</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。今後の参考とさせていただきます。</p>

		い、教師経験者による学習指導を市の主宰で開設したらどうであろうか。子ども食堂を中心とした地域に子供を呼び込み、学習指導や、リハビリ訓練のため、かもだ通りを散策する高齢者を回遊させて複合的に交わる空間を作れば、街全体が活性化するのではないか。	
2	4施策の体系 基本目標2 ①地域の魅力と地域資源を生かした観光振興 (15 ページ)③ 広域行政など 広域的な連携の推進 (18 ページ)	<p>鹿児島県の各都市から出かける際、素通り地点になっていると感じるので、桜島インター、加治木インター、始良インターなどを利用して、始良市にとどまる時間が長くなるような催し、施設があるといいと感じます。たとえば、加治木饅頭を買いに来た人が加治木郷土館や棕鳩十文学記念館、始良歴史民俗資料館を楽しめるような取り組みがあるといいと思います。</p> <p>「蒲生麓やジオパークに磨きをかけ、線で結ぶ」 → 蒲生と重富と加治木が、線で結ばれると、買い物したり、催しに参加したりと楽しめます。</p> <p>「駅前広場の整備で魅力向上を図ります。」 →通勤、通学の方だけでなく、観光客にも、わかりやすい案内を期待します。</p> <p>「公共施設の相互利用」 県民の森や、総合運動公園や、廃校になった学校などを利用した催しで、行き来できるといいと思います。先日ミュージアム知覧に行きましたが、おいでよ南さつまのアプリで、体験したり、買い物をしてスタンプを集めることに参加したことがきっかけで、この施設を知りました。同じようなアプリでクイズラリーやスタンプラリー等実施されることを希望します。</p>	貴重なご意見ありがとうございます。今後の参考とさせていただきます。

3	<p>4施策の体系 基本目標4 ①安全で安心して暮らし続けることができる、持続可能なまちづくりの推進 (24 ページ)</p>	<p>端山通りから加治木庁舎へと続く道路及びかもだ通り一帯をコンパクトシティエリアとして街の再構築を検討してほしいと思います。かもだ通りの中にあるスーパーや個店で生活品の買い物ができ、銀行、郵便局までもが道沿いにあり、迷うことのないわかりやすさと、歩いて回れるため、シルバー世代にとって便利なエリアです。あとは地域包括ケア病棟を併設した住空間を作ったら、買い物、医療、福祉などのサービスの維持が可能になり、安心感、利便性が高くなることでシルバー世代の移住先として魅力あるエリアになると思います。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。今後の参考とさせていただきます。</p>
---	---	---	--